

暮らしに役立つ情報満載



住まいるニュース

2020
3
vol.112

今月の特集

家族と一緒に成長する家

家族の成長に合わせて変わる子ども部屋の使い方

家の新築は現状の理想だけでなく、先々の家族の状況を想像して計画する必要がありますが、10年・20年・30年後を考えるのは難しいものです。「あの時、こうしておけば良かった…」と後悔しないためにも、しっかりとしたプランニングが大切です。

少し前まではハイハイをしていた赤ちゃんが、つかまり立ちをしたかと思えば、すぐに家の中を駆け回ります。スポーツや音楽などの習い事をはじめたり、家庭学習、お友達との遊び、二段ベッドからそれぞれの個室へ…。この時期、子どもの成長とともに生活スタイルが目まぐるしく変化します。そんな生活の変化に対応するため、家づくりは、子どもの成長を想像することからはじめてみましょう。

幼児期は、主寝室にベビーベッドを置いて一緒に寝るので、当面、子ども部屋は夫婦の趣味の部屋として活用することができます。二人目の子どもができてはじめて、上の子を子ども部屋で就寝させることになるため、それまではスペースを贅沢に使うことができます。下の子が大きくなっても、しばらくは二段ベッドに二人で寝ることを考えれば、子どもの寝室とプレイルームを、別に使い分けても

春は卒業や進学、就職などで子どもの成長を感じる季節。

子育てをする家庭では子どもの成長に合わせて

住まいの使い方も変化していきます。

そこで今回は、子ども部屋の役割とその変化について考えてみましょう。

良いでしょう。スペースに余裕があれば、吹き抜けの2階にマルチルームを設けてそこを遊び場にすれば、子どもの気配を感じながらキッチンなどで家事をすることができるので安心です。

FPパネルが可能にする自由度の高い空間づくり

学童期ともなれば、それぞれの個室で就寝することになるので、今まで子ども部屋を趣味の部屋としていましたが、主寝室や1階の空いたスペースを見つけて移動することになります。

子どもが思春期に差し掛かると、プライバシーを保つため、それぞれの個室に机を持ち込んで勉強と就寝が一室でできるよう個室を利用します。子どもが独立して家を離れ

るときは、子ども部屋だった個室が解放されるので、ゲストルームや収納スペース、ホームシアターなどに活用して生活を充実させることができます。このとき、個室の間仕切りを簡単に外して大部屋にできるような仕様しておけば、さらに有効に個室を活用できるのではないのでしょうか。

「FPの家」は、FPウレタン断熱パネルにより、隙間なく頑丈な住まいづくりが可能のため、間仕切りのない大空間を作るなど、自由度の高い家づくりができます。また、屋根用のオリジナルパネルを使うことで小屋裏を活用できる空間をつくるのが可能になります。長く住む家だからこそ、長く快適に過ごせる「FPの家」で家族の未来を見据えた家づくりをしてみませんか？



住まいの知恵袋

学習机

小学校入学が近づき、筆入やランドセルなどの学習用品をそろえ始めると悩ましいのが学習机の購入です。以前は小学校入学時期に合わせて学習机を買う家庭がほとんどでしたが、最近では、低学年のうち親の目が届くリビングで学習させる方がよいと考える人が増えたことや、住宅購入の計画がある家庭では住宅購入の時期に合わせて新居に合ったサイズの学習机を買おうと考える家庭もあるなど、必ずしも入学時期に合わせて学習机を購入しない家庭が増えてきたようです。

ある程度、値段がするもののほうが品質が良く長持ちしますが、子どもが気に入らず、あまり使われないということもあるので、学習机は慎重に選びたいものです。



小学生にかかるお金

小学生になると、授業料や教材などの学校教育費や給食費、学習塾や習い事などの学校外活動費を合わせた年間の学習費総額は、公立で約32万円、私立ではなんと約160万円もの支出があるそう。小学生が一番お金がかからない時期なので、この先を考えると、今のうちにマネープランをしっかり考えておくといいですね。

暮らしの1ポイント

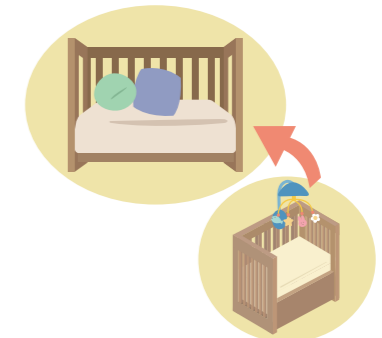
銭別

遠くに行く人に渡す「お銭別」の「銭(はなむけ)」という言葉は本来「馬の鼻向け」という意味で、旅立つ人の目的とする方向へ見送る人が馬の鼻を向けて旅の安全を祈願したこと由来するそう。銭別をもらったお返しは必要ありませんが、旅の無事の報告を兼ねて礼状を出すのがマナーです。



できた! / 簡単DIY

ベビーベッドのリメイク



赤ちゃんが成長すると、すぐに使わなくなるベビーベッド。そこで今回は、置き場所や処分に困ったベビーベッドをリメイクしてオシャレに変身させるアイデアをご紹介します!

ハイハイから自由に歩くようになると家の中には危険がいっぱい。ベビーベッドの柵の部分をベビーゲートやベビーサークルとして活用すれば、危険な場所から子供を遠ざけることができます。小学生に上がる前までの勉強やお絵かきに活躍するのがベビーベッドリメイクの学習机。低い位置に天板を置けるので、小さな子どもにはピッタリサイズです。マットレスをそのまま利用できるソファリメイクもオススメです。アイデア次第で色々なものが作れるベビーベッドリメイク。ぜひお試しあれ。

教えて! Dr. 住まいる

ひな人形を片付けるタイミング

ひな人形の保管は水回り近くを避け、押入れに入れる場合は湿気がたまりにくい上の方に、スノコの上などに箱を置いて空気の流れを作って保管しましょう。「ひな人形をいつまでも出しておくと娘が縁遠くなる」とよく言われますが、保管を考えた場合、「よく晴れた湿度の低い日」が片付けるベストタイミングです。

